

高校生向け

「クレジットカード」って どんなもの？

～キャッシュレス時代の主役のカード～



一般社団法人

日本クレジット協会

認定割賦販売協会 認定個人情報保護団体
クレジット教育センター



〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1-4番1号 住生日本橋小網町ビル6F

TEL：03-5643-0011 ホームページ：<https://www.j-credit.or.jp/>

はじめに ～クレジットについて学びみなさんへ～

今、日本では国の政策としてキャッシュレスが進められています。これによって、OOPayに代表されるようなモバイル（スマホ）決済（QRコード決済）の広告がTVなどで盛んに行われています。

キャッシュレスには、モバイル（スマホ）決済のほかに電子マネーやプリペイドカードもありますが、その主役はクレジットカードです。クレジットカードは、国内で2億9,531万枚発行され、成人1人につき約3枚（2.8枚）のカードを持っていることになります。※2021年3月末現在
また、1年間で約81兆円が利用されています。

クレジットカードは、一般的に18歳になると親権者（親）の同意を得ることなく入会申込みが出来ますが、高校生は申込み対象外としているクレジットカード会社が多いようです。

高校を卒業して、大学や専門学校に行ったり、仕事をしたりするようになると申し込めます。みなさんが社会に出るときに備えて、キャッシュレスの種類や特徴、クレジットカードの基本となる使い方や作り方、注意点などを学んでいきましょう。

内 容

- 1章 キャッシュレスにはどんなものがあるの？
- 2章 クレジットカードはどうやって使うの？
- 3章 クレジットカードはどうやってつくるの？
- 4章 個別クレジットってどんなもの？
- 5章 高校生として知っておきたいこと
- 6章 こんなときどうするの？
- 7章 クレジット利用のまとめ

1章 キャッシュレスにはどんなものがあるの？

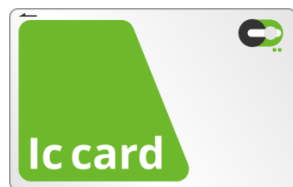
1. 私たちの周りにある支払方法を見てみよう

現金



キャッシュレス
決済

現金を使わないで支払いができること
代表的なものは、クレジットカード、電子マネー、
デビットカード、モバイル決済など



2. なぜ「キャッシュレス決済」が広まってきたの？

(1) 国の政策として進められている

《「キャッシュレス化」が進むことで期待されている効果 その1》

①犯罪を減らすこと

偽札や強盗などの問題を減らすことができる



②現金管理の手間や時間を減らすこと

現金の製造、お店でのおつりの用意や売上金の計算などを減らすことができる



③購入データを活用すること

購入した商品や日時などのデータをマーケティングに使うことができる



《「キャッシュレス化」が進むことで期待されている効果 その2》

キャッシュレスが「ウイルス感染防止対策」として有効とされる

- ① お店で多くの人に触れる
「現金」に触れずに
お会計できるため衛生的



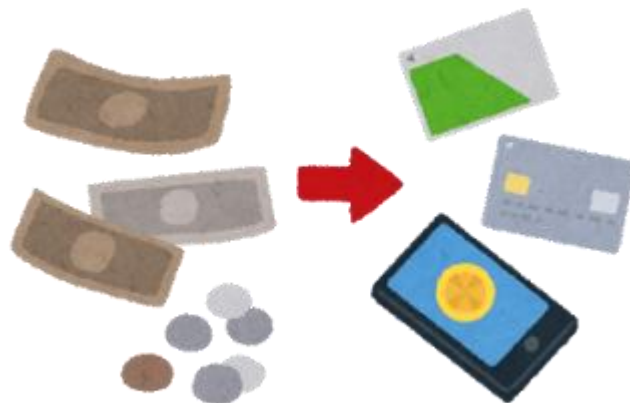
- ② 店員さんとの
接触を避けることができる



課題：災害時（停電など）は使えないこともある

(2) 「キャッシュレス」はこれからどうなるの？

国は、これからさらにキャッシュレスを「推進」していく考えがある



日本のキャッシュレスの目標

2016年：20% ⇒ 2025年：40%
(2019年：27%) 将来：80%

買い物するとき、消費者はいろいろな支払方法の中から、自分で選択をする
必要な情報を集めて検討し、責任があることを自覚して意思決定する

(3) 世界のキャッシュレス 「消費支出に占める決済比率」

《 2019年における諸外国との比較 》

国	2019年 民間最終 消費支出 (額)	単位	取扱高 (左記の各国単位)			決済比率 (%)			合計
			クレジット カード	デビット カード	電子 マネー	クレジット カード	デビット カード	電子 マネー	
韓国	931,670	10億ウォン	718,037	195,239	897	77.1	21.0	0.1	98.1
シンガポール	183	10億シンガ ポールドル	67	35	3	36.6	19.1	1.6	57.4
アメリカ 合衆国	14,545	10億米ドル	3,964	3,026	221	27.3	20.8	1.5	49.6
スウェーデン	2,278	10億スウェー デンクローナ	258	868	0	11.3	38.1	0.0	49.4
フランス	1,303	10億ユーロ	87	522	1	6.7	40.1	0.1	46.8
日本	305,618	10億円	73,431	1,829	6,871	24.0	0.6	2.2	26.9
ドイツ	1,807	10億ユーロ	9	341	1	0.5	18.9	0.1	19.4

※出所：日本クレジット協会発行「日本のクレジット統計 2020年度版」より抜粋

☞キャッシュレス決済50%前後の国が多いなか、日本は30%弱（参考：2020年29.7%）と低い！

(4) キャッシュレス先進国ではなぜ広まったか

①韓国の場合



【背景】

1997年のアジア通貨危機により
落ち込んだ経済を立て直すため

【目的】

短期的：個人消費を押し上げること
長期的：小売店での脱税防止

【具体的な政策】

1. クレジットカード利用額の一部を
所得控除する制度の導入
2. クレジットカードの利用控えに
「宝くじ」を付与する制度の導入
3. 年商240万円以上の店舗にクレ
ジットカード決済対応を義務化

【主に使われる支払方法】

- ・カード決済（**クレジットカード**）

②スウェーデンの場合



【背景】

1990年代の金融危機や環境保護の観
点から、現金（紙幣・コイン）の発行や
輸送を減らすため

【目的】

- ・現金の取り扱いコスト削減
- ・現金強奪などの犯罪対策

【具体的な政策】

1. 国内の4大銀行を中心に現金・小切
手の利用を減らした
2. POS端末をATMの60倍の20万
台設置し、カード決済の環境を
整備した（2010年時点）

【主に使われる支払方法】

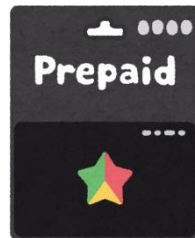
- ・カード決済（**デビットカード**）
- ・「swish（スウィッシュ）」と呼ば
れるスマホ送金アプリ（即時払い）

3. 買い物で使えるカードにはどんなものがあるの？

前払い

先に「お金」を支払う

・プリペイドカード

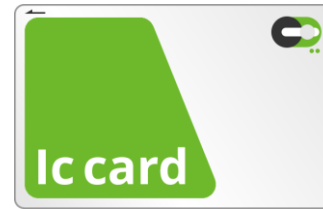


お店などで金額分のカードを購入して利用する。使い切りで、繰り返し使えない。



〔カードを店員に渡して処理してもらう〕

・電子マネー



お店などでカードを申込み、お钱を入金（チャージ）して利用する。繰り返し使える。



〔カードを自分で読み取り機にかざす〕

即時払い

買うときに「お金」を支払う

・デビットカード



銀行などで申込む。預貯金口座とひもづけるカード。預貯金口座にある金額（残高）の範囲で繰り返し使える。利用すると、すぐに預貯金口座から利用金額が引き落とされる。



〔カードを店員に渡し処理してもらう（自分で処理することもある）
暗証番号の入力やサインが求められる〕

後払い

後日「お金」を支払う

・クレジットカード



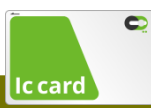
カード会社に申込み、審査を受ける。利用すると、後日利用金額が請求される。1回払いや分割払いなど支払方式が選べる。



【まとめ】買い物で使えるカードの比較



プリペイドカード



電子マネー



デビットカード



クレジットカード

支払方法	前払い		即時払い	後払い
カードをつくる方法	お店などで金額分のカードを購入する	<ul style="list-style-type: none"> 駅やお店などで申込む 利用する前に入金（チャージ）する 	金融機関などに預貯金口座を設け、カードを申込む	クレジット会社に申込み、審査を受ける
年齢制限	なし	なし	あり (高校生以上が多い)	あり (18歳以上だが高校生は対象外が多い)
他の人への貸し借り	できる	できない (個人名がないものはだれでも利用できる)	できない	できない
利用できる金額の範囲	購入したカードの金額	入金した金額 (上限あり)	預貯金口座にある金額（残高）	カードの利用可能枠 (カードごとに違う)
有効期限	なし	なし (ただし、最終利用日から一定期間利用がないと、使えなくなる制限などがある)	J-Debit：なし ブランドデビット：あり	あり

4. カード以外でも支払えるの？

カードの代わりに、スマートフォンなどを使って、キャッシュレス決済ができる。

利用したい決済アプリにクレジットカード、デビットカード、電子マネー・預貯金口座等を連携させて利用するものや、コンビニなどで入金（チャージ）して利用するものがある。

最近では、スマートフォンに連携させた腕時計型端末（スマートウォッチ）などでも支払いができる。

- 決済アプリのバーコードやQRコードをスマホに表示し店員に読み取ってもらう。
- 店頭に表示されているコードを自分のスマホの決済アプリで読み取る。



- スマホや腕時計型端末を自分で読み取り機にかざす（タッチ決済＝詳細はP24を参照）





1章をふりかえろう

1. 現金を使わないで支払うできることを「（ ① ）決済」という。
2. 「前払い」は、商品を買う前にあらかじめ金額分のカードを買うなど、先に（ ② ）を支払う。
3. デビットカードは銀行などの（ ③ ）とひもづいているカード。（ ③ ）にある金額（残高）の範囲で使える。
4. クレジットカードは、商品を買った後に（ ② ）を支払う。このような支払方法を「（ ④ ）払い」という。
5. クレジットカードは、一般的には（ ⑤ ）以上から持つこと（審査あり）ができるが、高校生は対象外としているクレジット会社が多い。



1章をふりかえろう

1. 現金を使わないで支払いできることを「①キャッシュレス 決済」という。
2. 「前払い」は、商品を買う前にあらかじめ金額分のカードを買うなど、先に ②お金 を支払う。
3. デビットカードは銀行などの ③預貯金口座 とひもづいているカード。 ③預貯金口座 にある金額（残高）の範囲で使える。
4. クレジットカードは、商品を買った後に②お金を支払う。
このような支払方法を「④後 払い」という。
5. クレジットカードは、一般的には ⑤18歳 以上から持つこと（審査あり）ができるが、高校生は対象外としているクレジット会社が多い。

2章 クレジットカードはどうやって使うの？

1. 「クレジットカード」と他のカードの違いは？

- ① 支払方法は後払いである
- ② 支払方式が選べる（次ページ参照）
- ③ 利用できるお店が世界中にある

〔クレジットカードの国際ブランド〕
同じマークが表示されている
お店なら海外でも使える



- ④ カードを持つためにはクレジット会社の審査を受ける
- ⑤ カードの有効期限や利用できる金額に限度がある
- ⑥ カードの管理や支払いの管理責任などのルールがある

誰でも持てる
カードではない

2. クレジットカードの支払方式にはどんなものがあるの？

(1) 主な支払方式

① 1回払い（翌月一括払い）

利用した当月又は翌月に、一括して支払う方式。マンスリークリアともいう。
手数料は、かからない。

② ボーナス一括払い

利用した次のボーナス時期に、一括して支払う方式。
手数料は、かからない。

③ 分割払い

利用した当月又は翌月から、指定した回数に分けて支払う方式。
＝月々均等払い、手数料がかかる。

- ・クレジット会社やカードにより、選べる支払方式が異なる。
- ・飲食店などでは、1回払いのみの店もある。

④ リボルビング払い（リボ払い）

毎月支払う最低限の金額を決めておく方式。
たとえば毎月3万円支払うコースであれば、利用金額に関係なく3万円支払う（3万円未満の場合はその額）。
＝月々一定額払い、手数料がかかる。

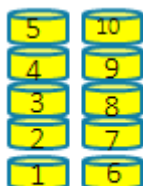
(2) 支払方式のイメージ

12月に、10万円のカメラを
クレジットで買ったとすると…



1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月

1回払い
(翌月一括払い)



10万円

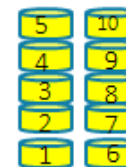
完済

買い物をした月又は次の月に、1回で支払う

ボーナス一括払い

次のボーナス時期の8月に請求される場合

ボーナス時期(夏・冬)に、1回で支払う



10万円

完済

5回で払う場合

分割払い
支払う回数を決める



2万円
+ 手数料



2万円
+ 手数料



2万円
+ 手数料



2万円
+ 手数料



2万円
+ 手数料

完済

手数料 ⇒ 14%/年
約3,500円

毎月1万円ずつ支払う場合

リボ払い
支払う金額を決める



1万円
+ 手数料



1万円
+ 手数料



1万円
+ 手数料



1万円
+ 手数料



1万円
+ 手数料



1万円
+ 手数料



1万円
+ 手数料



1万円
+ 手数料



1万円
+ 手数料



1万円
+ 手数料

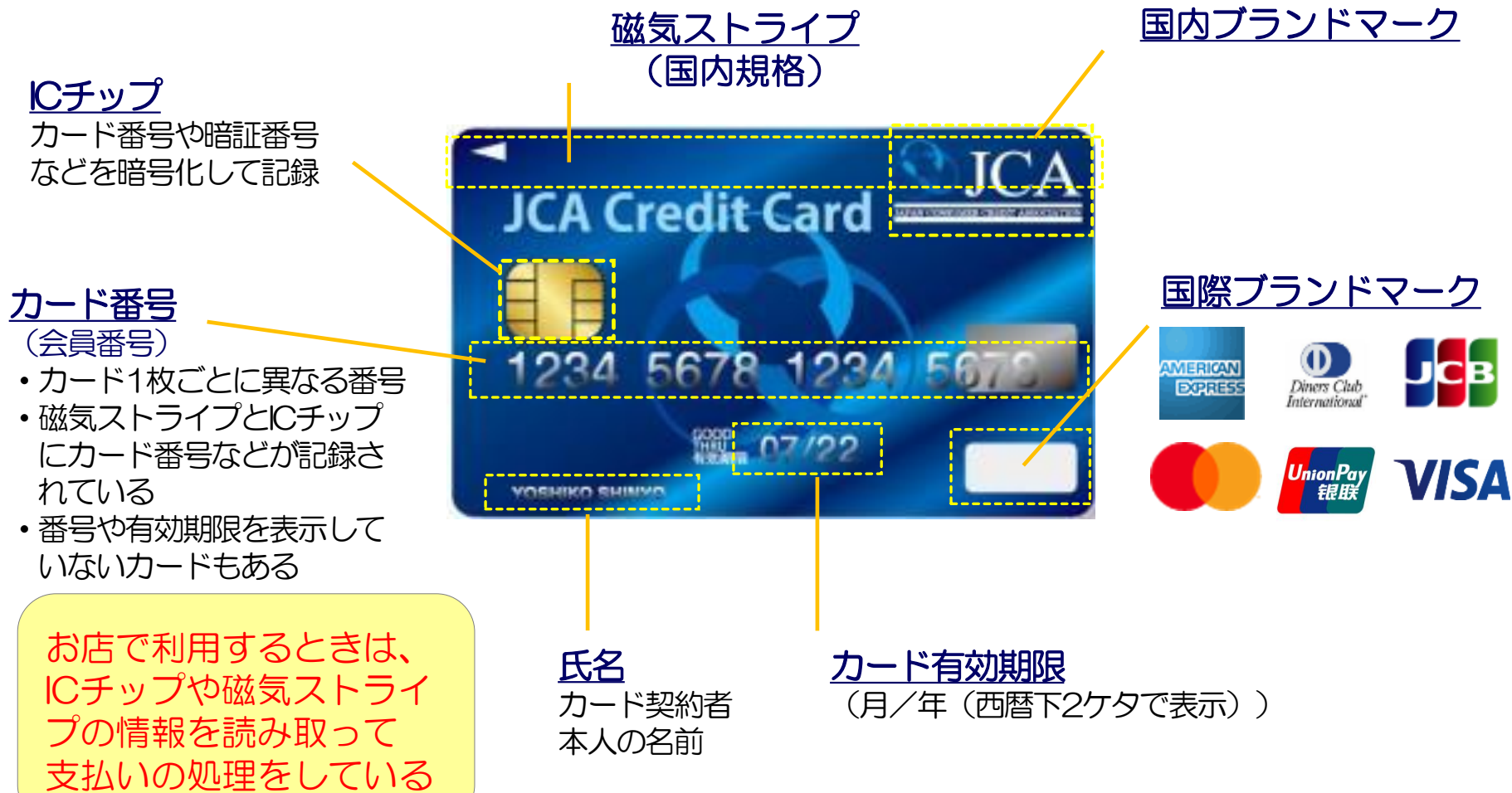
完済

手数料 ⇒ 14%/年
約6,100円

3. クレジットカードを見てみよう

【カード表面（例）】

カードの種類によって、表面と裏面の表示項目やデザインが異なることもある。



【カード裏面（例）】

磁気ストライプ (国際規格)

カード番号などを記録

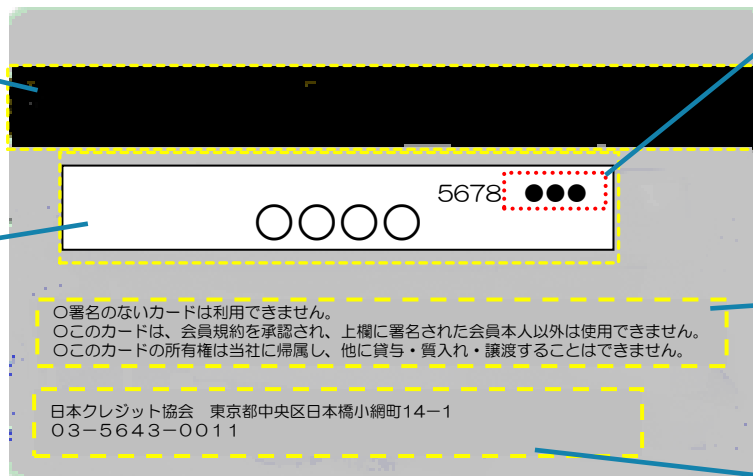
セキュリティコード

磁気ストライプには
記録されない3桁の数字
(表面に4桁のカードもある)

署名欄

署名欄のあるカードには
契約者本人がサインする

- ①署名欄のあるカード
の場合は、サインが
ないと使えない
- ②カードを受け取った
らすぐにサインする



注意事項

クレジット会社の連絡先

- ・困ったときはここに連絡
- ・あらかじめクレジット会社
名と連絡先を記録しておく

◎やってみよう！

カード見本の署名欄にサインをしてみよう！

- ・漢字
- ・ひらがな
- ・カタカナ
- ・英字
- ・その他

4. クレジットカードを使ってみよう

(1) お店で使ってみよう

店員にクレジットカードで支払うことを伝える



支払方式（1回払い、分割払い、リボ払いなど）を伝える



金額などを確認したら暗証番号の入力またはサインをする



商品と**利用伝票**の控えを受け取る



利用明細の確認（書面、Web、アプリなど）



クレジット会社への代金の支払い
（預貯金口座からの自動引落としなど）

必ず支払日までに
支払う金額を用意する

【利用伝票控え】

【クレジット売上票】			
加盟店名	ABC 書店		
TEL	03-1234-5678		
端末番号	12345-678-910	ご利用日	2018/07/01 10:20:30
伝票番号	1 2 3 4 5	会員番号	XXXXXXXXXX3456(C)
承認番号	1 2 3 4 5 6	取引内容	売上
カード会社	JICAカード	支払区分	一括
金額	¥5,000	取扱区分	000
税その他	¥400	商品区分	1 2 3 4
合計金額	¥5,400		
ご利用ありがとうございました。 またのご来店をお待ちします。			
売場:	係員:	お客様控え	
<クレジット教育用教材>			

必ず確認！

(2-1) 「暗証番号入力」や「サイン」にはどんな意味があるの？

① カードを利用する人

⇒ 買い物(契約)内容の確認
＝ **内容に問題がない**と認める



② お店・クレジット会社

⇒ 利用する人がカードの
持ち主本人であるかを確認



(2-2) 「暗証番号入力」と「サイン」を詳しく見てみよう

<暗証番号> (IC取引のとき)

ICチップ



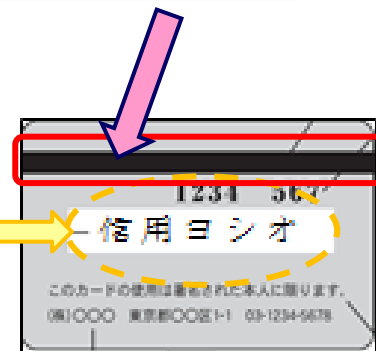
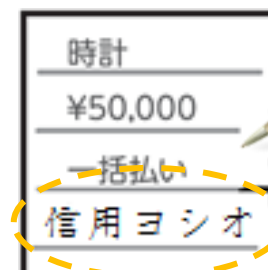
申込書に記入した（自分で決めた）
4ケタの暗証番号を入力する

- 暗証番号は、他人に教えない
- 暗証番号を使われて他人に不正利用されたときは、カード会員に支払責任がある

⇒暗証番号管理をしっかりすればOK！

<サイン> (磁気取引のとき)

磁気ストライプ



カード裏面と同じサインをする
(署名欄のあるカードの場合。
海外でも同じようにして利用)

- 裏面にサインのないカードは使えない
- サインのないカードを不正利用されたときは、カード会員に支払責任がある

⇒カード受領時にサインをすればOK！

【参考】新しい使い方の登場～タッチ決済について～

◎タッチ決済（コンタクトレス決済）とは

専用端末に**クレジットカードをかざすだけ**で支払いが完了する決済方法のこと。
定義は、非接触型ICカード、もしくは非接触型ICチップを利用していること。

（近年普及が進んでいるQRコード決済は含まれない）

すべてのお店で利用できるのではなく、一部のスーパー、コンビニ、ファストフード店などで利用できる。

その特徴は

①決済時に暗証番号を入力したり、サインをしたりする必要がないため、よりスピーディーに決済が完了する。
そのため、「PINレス決済／サインレス決済」とも呼ばれる。
※一定額を超える支払い等には、暗証番号入力やサインが必要。

②店員にカードを渡す必要がなくなるので、セキュリティ面でも安心して利用できる（店員にカード番号等を見られない）

（利用方法）タッチ決済を利用する場合は

お支払いの際に店員さんに「タッチ（コンタクトレス）で」と伝える

タッチ決済
対応マーク



カードやお店の端
末機などに表示

STEP 1

カードにタッチ決済対応マークがあることを確認



STEP 2

タッチ決済対応の加盟店で専用読み取り機に対象のマークがあることを確認



STEP 3

専用読み取り機にカードをかざして支払完了！

(3) ネットショッピングで使ってみよう

支払いの画面で、「支払方法」を「クレジットカード」にして、「カード番号」「有効期限」などを入力する



確認画面に表示された購入商品・届け先・金額・支払方式などを確認してから、「購入」または「承諾」ボタンをクリックする



購入完了画面を保存またはプリントアウトする



商品などの受け取り

利用明細の確認（書面、Web、アプリなど）



クレジット会社へ代金の支払い
（預貯金口座からの自動引落としなど）

ネットショップのサイトが、安全なサイト（店）かどうか注意しよう！



ネットショッピングでは暗証番号入力やサインはなく、「購入」や「承諾」ボタンをクリックすることで、購入内容を確認したことになる



(4) 安全なネットショッピングの選び方

① **会社情報等**をチェック！

⇒販売店の所在地や連絡先などの情報

(キャンセル・返品条件、利用規約なども事前に必ず確認しておく)

なお、他の利用者の評価は参考程度に確認する

② **価格**をチェック！

⇒一般に流通している価格よりも大幅に安く販売されている場合は、商品が届かないことや、模倣品（偽物・コピー品）が送られてくる可能性があることに留意する

③ **不自然な日本語**がないかチェック！

④ **支払方法**をチェック！

⇒支払方法の選択でクレジットカードが利用できず、銀行振込しか用意されていない場合でかつ個人名口座の場合は十分に注意する



◎誤って偽サイトを利用してしまったら…

- ・代金を支払っても商品が届かなかったり、偽物や粗悪品が送られたり…
- ・また決済の手続きにおいて入力したクレジットカード情報が悪用され、不正利用被害に遭う可能性もある…

⇒気づいたらすぐにカード裏面記載にクレジット会社に連絡をする！

(5) ネットショッピングで安全に使うために

「なりすまし」という不正利用を防ぐために、ネットショッピングの時に「カード番号」「有効期限」だけでなく「セキュリティコード」や「ネット利用のためのパスワード（3Dセキュア＝スリディーセキュア）」を入力させるサイトもある。

セキュリティコードの入力例

カード番号
1234 - 5678 - 1234 - 5678

有効期限
2020 年 3 月

セキュリティコード
567 3桁または4桁の番号です
[\[?\] セキュリティコードについてはこちら](#)

「セキュリティコード」は、
手元にカードがないと入力できない

⇒P.20【カード裏面（例）】参照

安全に使うため少し手間をかけよう！

ネット専用パスワードの入力例

本人認証のパスワードを入力してください。

加盟店名：●●●ショップ
ご利用金額：10,800円
ご利用日：2016/08/01
カード番号：XXXX XXXX XXXX 5678
パーソナルメッセージ：日本の好きな地名

パスワード：●●●●●●●●
パスワードを忘れた場合

送信 キャンセル ヘルプ

自分で決めたパスワードは、自分にしか
分からないから安全性が高い
（暗証番号ではない）

⇒ネットショッピングなどで使うために、
クレジット会社にパスワードを登録し
てから利用する

5. 利用明細をチェックしよう

- ①支払日と金額 ②利用可能枠（ショッピング、キャッシング）
③利用明細 ④リボ払いの明細 ⑤リボ払いの残高 ⑥分割払いの明細

支払い額の
確認だけ
はダメ！

ご利用代金明細書

2018年〇月〇日発行

JCAカード株式会社

東京都中央区日本橋〇〇〇〇〇〇

お問い合わせ先

TEL:03-〇〇〇〇-1234

①

②

③

利用した覚えが
ない取引などが
あれば、
クレジット会社
へすぐ連絡！

リボ払いの支払明細(例)

④

リボ払い・キャッシングのお支払明細

〇月〇日現在(今回の締切日)	リボ払い	キャッシング
① 前回お支払後元金残高	20,000	0
② 新規ご利用額	50,000	0
③ 随時元金返済額	0	0
今回お支払額	10,863	0
④ 内元金	10,000	0
内手数料・利息	863	0
今回お支払後残高 (①+②-③-④)	60,000	0
ご利用枠	300,000	300,000
手数料・利率(実質年率)	15.00%	18.00%
お支払コース	残高スライド方式	元利定額
毎月お支払額	下記参照	10,000

⑤

リボ払いの毎月のお支払額

毎月締切時点での ご利用お支払額	10万円以下	10万円を超えて 20万円まで	以降残高10万円 増額毎に
毎月のお支払額	1万円	2万円	1万円増加

分割払い(3回払い)の支払明細(例)

分割・2回払い・ボーナス払いのお支払明細

お支払月	お支払予定額	お支払残高
5	10,200	20,400
6	10,200	10,200
7	10,200	0

⑥

支払方式、
支払回数などは
間違いはない？

支払回数	3回	5回	6回	10回	12回	15回	18回	20回	24回
支払回数	3ヵ月	5ヵ月	6ヵ月	10ヵ月	12ヵ月	15ヵ月	18ヵ月	20ヵ月	24ヵ月
手数料率 (実質年率)	12.00 %	13.25 %	13.75 %	14.25 %	14.75 %	15.00%			

6. クレジット会社の安全・安心のための取組みを見てみよう

① ICクレジットカード取引の推進

磁気カード(ICチップなし)



ICカード(磁気ストライプ付き)



お店もICカードが
読み取れるレジに
順次置きかえている

磁気カードに比べてICカードは**安全性が高い!**
= カードの偽造がされにくい、不正利用されにくい
⇒ **なりすまし対策**につながる!

Point!



◎ICカードになると…

⇒サインではなく、**暗証番号を入力**する!

◎暗証番号は…

⇒**忘れない、人に教えない**ことが大事!



② フィッシング詐欺の注意喚起



悪意のある第三者



件名：【緊急】

メールやSMSを送信
(内容例)
「あなたのクレジットカード
が不正利用されているので、
ここにアクセスして確認して
ください」など



消費者

ID・パスワード、カード
情報等が悪意のある
ユーザーに渡ってしまう

〇〇クレジット会社と
そっくりな偽サイト

〇〇クレジット会社		〇〇クレジット会社	
お客様氏名:	信用 ヨシコ	ID:	****
カード番号:	12345678...	パスワード:	****
⋮			
確認・登録		ログイン	ログイン

メールやSMSに記載さ
れているURLをクリッ
クして偽サイトにアク
セス・情報入力

このようなメールやSMSを使った悪質な犯罪手口には注意が必要。

1. 不審なメールは開かない **2. リンクを不用意にクリックしない**
クレジット会社は、ホームページ上でクレジットカードの暗証番号などを聞くこ
とはないので覚えておこう！

③ 「セキュリティコード」や「ネット利用のためのパスワード」の入力

ネットショッピングで利用するときの安全対策のひとつ（P.27参照）。

④ 「ID・パスワードの使い回し」の注意喚起

どこかで一度盗られてしまうと他のホームページやSNSなどで自分になりすましてクレジットカードを不正に利用されてしまうこともある



覚えるのが面倒だから・・・
複数のサイトの
IDとパスワードを
使い回している



情報の不正流出を防ぐため、サイトごとにIDとパスワードを**使い分け**ている

1. 複数のネットショッピングのサイトで**同じIDとパスワードを設定しないように**する！
2. 推測されやすい単純なパスワードを避け、複雑なパスワードを設定しよう！
3. ネットショッピングのサイトには、**クレジットカード番号も登録しておかない**！

⑤ 不正なカード利用を防ぐ

24時間365日、不審なカード利用をする動きがないか不正検知システムで、**モニタリング（監視）**をしている。
これにより、**不正利用をより早く発見**して不正利用を防ぐ取組みを行っている。



⑥ カード利用時の確認

クレジットカードで支払いをするとき、「**利用可能なカードか**」をチェックしている。
もし利用上の問題があれば、お店はカードの利用を断ることもある。

【ICカードの場合】



【磁気カードの場合】



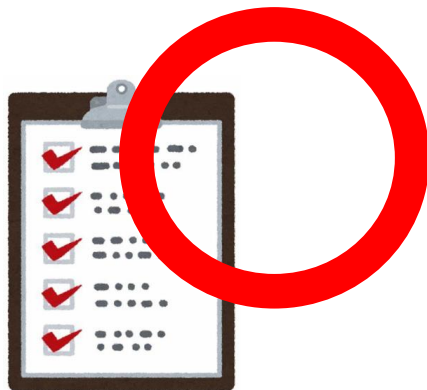
＜例えばこんなチェックをしている＞

- ① 紛失したり、**盗まれたカード**ではないか
 - ② 利用可能枠を**オーバー**していないか
 - ③ **有効期限**が過ぎていないか
- など

出典：協会HPに掲載

⑦ カード会員を守る

カードが不正に利用されてしまった場合でも、本人が**カード会員契約を守って利用している**とクレジット会社が利用上の問題がないと認めれば、不正に利用された金額の**支払いは免除**される。





2章をふりかえろう

1. クレジットカードを持つためには、クレジット会社の（ ① ）を受ける。
2. 分割払い、リボ払いには、購入した商品の代金に加えて（ ② ）がかかる。
3. クレジットカードの裏面に署名欄があるカードのときには、（ ③ ）がないとそのカードは利用できない。
4. 暗証番号は、（ ④ ）ケタの数字。絶対に他人には教えてはいけない。
5. 身に覚えのない買い物はないか、支払金額や支払方式などに間違いがないか、必ず（ ⑤ ）を確認する。



2章をふりかえろう

1. クレジットカードを持つためには、クレジット会社の ①審査 を受ける。
2. 分割払い、リボ払いには、購入した商品の代金に加えて ②手数料 がかかる。
3. クレジットカードの裏面に署名欄があるカードのときには、③サイン がないとそのカードは利用できない。
4. 暗証番号は、④4 ケタの数字。絶対に他人には教えてはいけない。
5. 身に覚えのない買い物はないか、支払金額や支払方式などに間違いがないか、必ず ⑤利用明細 を確認する。

3章 クレジットカードはどうやってつくるの？

1. クレジットのしくみを知ろう

基本：売買契約



- お互いに、相手に要求できること（＝権利）、しなければならないこと（＝義務）の約束ごと
- お互いの合意（意思の合致）によって成立する
- 成立したら、その契約（約束）は守らなければならない
- 商品を返品したいときは、お店の了解を得る必要がある（一方的な返品、キャンセルはできない）

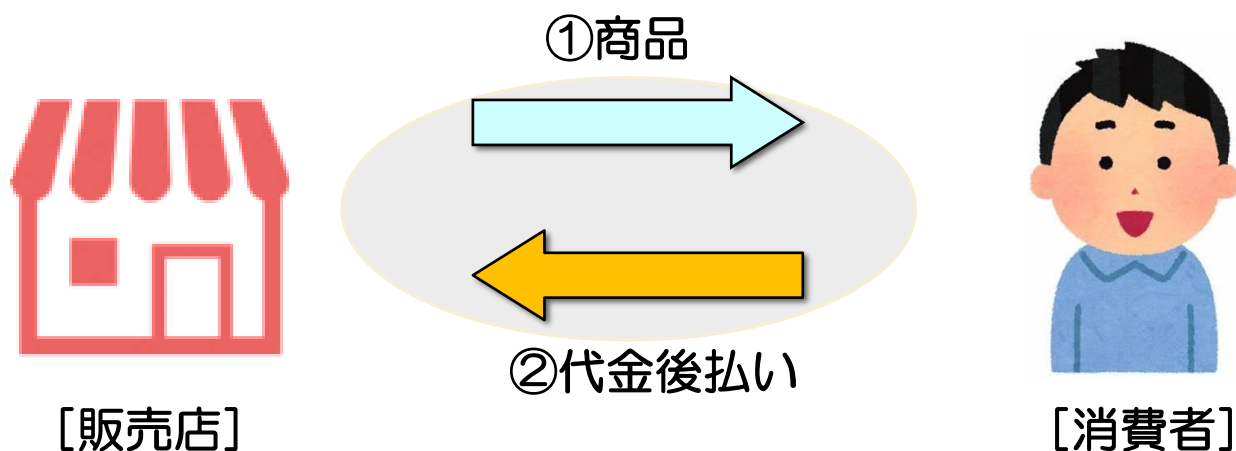
◎売買契約が成立すると 消費者：商品を引き渡してもらう権利があるが、代金を支払う義務がある
販売店：代金を支払ってもらう権利があるが、商品を引き渡す義務がある

【契約の例】

- 友達にマンガを貸してもらうこと ＝ 破いたり、汚したりしない、期日までに返さないといけない
- 電車やバスに乗ること ＝ お金を払えば、自分が降りたい駅やバス停まで行ける

クレジット取引の場合①

二者間契約



- 販売店が消費者を審査して、商品を先に引き渡す
- 消費者は、販売店から商品を受け取り、後日代金を支払う

クレジット取引の場合②

三者間契約

クレジット会社にお金を支払う

お店から商品を受け取る

クレジット会社は消費者を審査する

③代金後払い

①商品の引渡し

[クレジット会社]

②代金立替え

[販売店]
(加盟店)

Point !



買い物をしたところと代金を支払う先が違う

2. 三者間契約って何？

立替払契約※

(たてかえらいけいやく)
クレジットの代金の
支払い等に関する契約



[消費者]

※クレジットカードの場合
消費者-クレジット会社間にカード会員
契約が結ばれる。

売買契約

商品の購入・引渡しに関する契約



[クレジット会社]



[販売店]
(加盟店)

加盟店契約

お店とクレジット会社
とのクレジット取扱い
のルールを定めた契約

消費者から見ると契約先が二つあるので、何かあった時の相談先も二つになる（商品等については販売店、支払いについてはクレジット会社）。消費者は、販売店から商品を受け取る権利があり、クレジット会社に対し支払いをする義務がある。

3. どんなメリットがあるの？

消費者のメリット

- ① 手元に現金がなくても買い物ができる **(キャッシュレス)**
- ② 一定期間、代金支払いの猶予がある **(期限の利益)**

- ③ 代金を分けて払うことで、月々の負担を減らせる **(分割の利益、家計の平準化)**
- ④ 付加サービス（ポイント、割引、補償など）がある



消費者

クレジット会社のメリット

- ① 消費者から年会費や分割払いなどの手数料が入る
- ② 販売店（加盟店）からクレジットを利用する手数料が入る（加盟店手数料）



クレジット会社

販売店のメリット

- ① 消費者の手元にお金がなくとも購入を勧められる（販売機会増加）
- ② 金額の高い商品でも購入を勧められる（単価増額）
- ③ 代金回収・未収金のリスクがない（本業専念）



販売店（加盟店）

4. クレジットカードをつくるには？

(1) 申込みから発行までの流れを知ろう

支払方式、手数料、年会費など、カードの契約内容を確認し、他のカードと比べて検討して申し込む。ポイント特典、サービスはおまけ。

申込書に必要な事項を**正確に記入**しクレジット会社に提出
(本人確認書類も用意)
ネットから申込みもできる



クレジット会社による**審査**



審査が通ったら

クレジットカードの発行



記入（入力）項目は、

「氏名」「住所」「生年月日」などの個人を特定するための情報や、「勤務先」「勤続年数」「年収」「借入状況」「家族構成」「居住年数」などの支払能力を調査するための情報、「銀行口座」（支払用）など。

また、「暗証番号」は申込時に自分で決める。
他人に分かりにくい番号を設定する。

（生年月日や電話番号、並び数字（7777など）は使わないようにする）

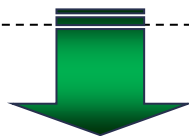
(2) クレジット会社の審査ってどんなもの？

審査とは？

クレジットの過剰な利用を防ぎ、健全な取引が行われるようにするためのしくみ

《審査のチェックポイント》

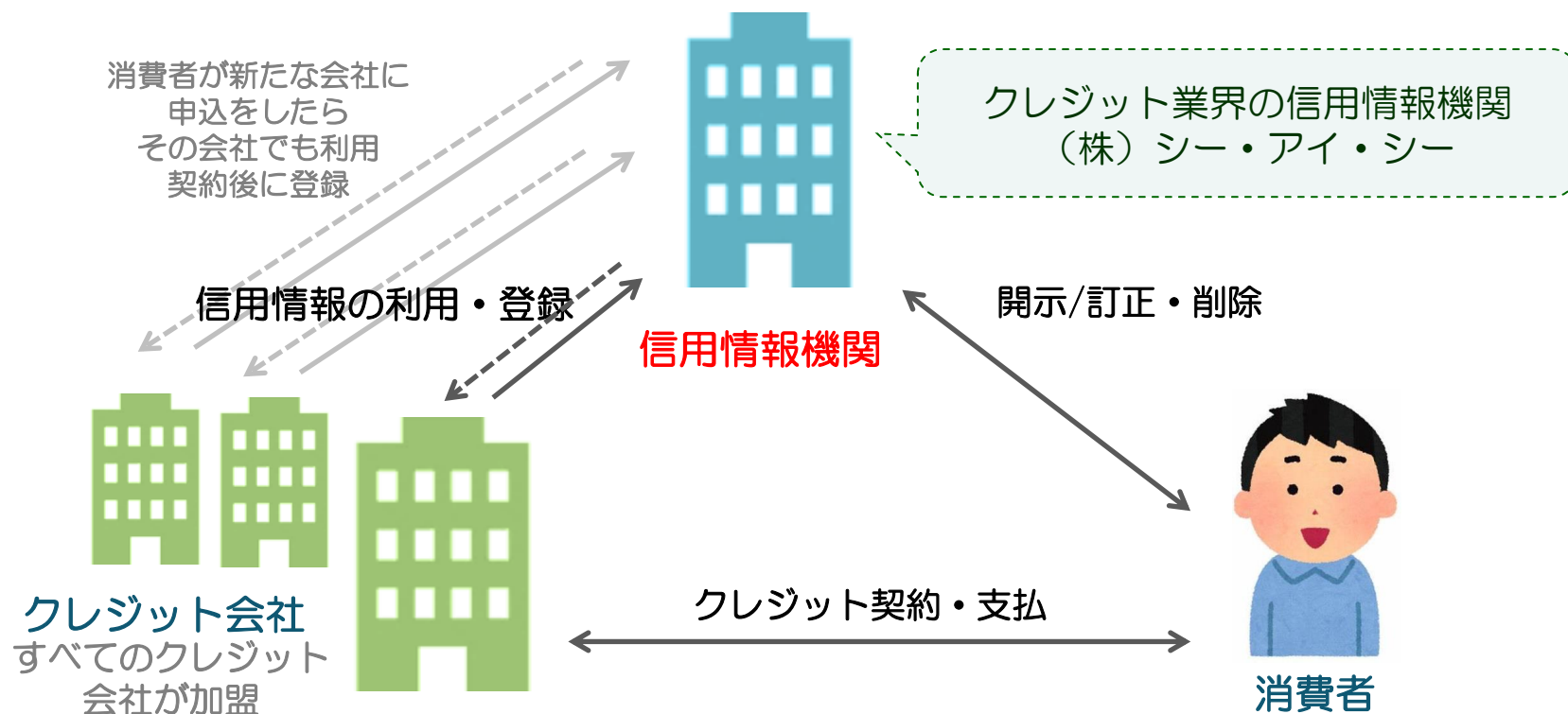
- ① 申込内容の確認
- ② 自社における過去の取引の有無や支払状況等の確認
- ③ 他社における取引状況等の確認
(【信用情報機関】に登録されている情報で確認)



利用代金を後からきちんと支払ってくれる人か
＝ 信用に足る人かどうかを判断する
(各カード会社の判断基準は異なる)

(3) 信用情報機関とは？

クレジット会社から登録される、個人のクレジットの利用や支払の状況などの情報（信用情報）を保有している機関。信用情報は申込者の同意を得て、信用情報機関に必ず登録され、その情報は他のクレジット会社にも利用される。



【登録される信用情報】

- ・属性情報（氏名、生年月日、住所等）
 - ・クレジットの申込みや契約に関する情報
 - ・支払状況に関する情報（支払残高、支払履歴など）
- ※個人の宗教や犯罪歴などは含まれない

信用情報は消費者の信用を判断する大切な材料。信用情報機関に登録されている情報は**審査のために限り利用される。**



3章をふりかえろう

1. 契約とは、お互いに、「相手に要求できること＝権利」と、「しなければならないこと＝義務」の約束ごとで、お互いの（ ① ）（意思の合致）によって成立する。
2. クレジットの三者間契約では、消費者とお店の間で売買契約を結んでいて、消費者とクレジット会社との間で（ ② ）契約を結んでいる。
3. クレジット会社の審査は、（ ③ ）に足る人かどうかを判断している。
4. クレジットカードを申込むときに設定する（ ④ ）は、他人に分かりにくい番号に設定する。
5. クレジットカードを申込むときは、（ ⑤ ）方式、手数料、年会費などの基本となる契約内容をよく確認する。



3章をふりかえろう

1. 契約とは、お互いに、「相手に要求できること＝権利」と、「しなければならないこと＝義務」の約束ごとで、お互いの ①合意（意思の合致）によって成立する。
2. クレジットの三者間契約では、消費者と販売店の間で売買契約を結んでいて、消費者とクレジット会社との間で ②立替払 契約を結んでいる。
3. クレジット会社の審査は、 ③信用 に足る人かどうかを判断している。
4. クレジットカードを申込むときに設定する ④暗証番号 は、他人に分かりにくい番号を設定する。
5. クレジットカードを申込むときは、 ⑤支払 方式、手数料、年会費などの基本となる契約内容をよく確認する。

4章 個別クレジットってどんなもの？

1. 個別クレジットとは？

- ① **クレジットカードを利用せず**に、個々の商品の購入やサービスの提供を受けるために利用するクレジットのこと
- ② **利用の都度、申込み**をして、**審査**を受けるクレジットのこと

個別方式のクレジットは、主に自動車やスマートフォン・携帯電話、高額な家電製品等の購入に広く使われている



【個別クレジットの利用例】

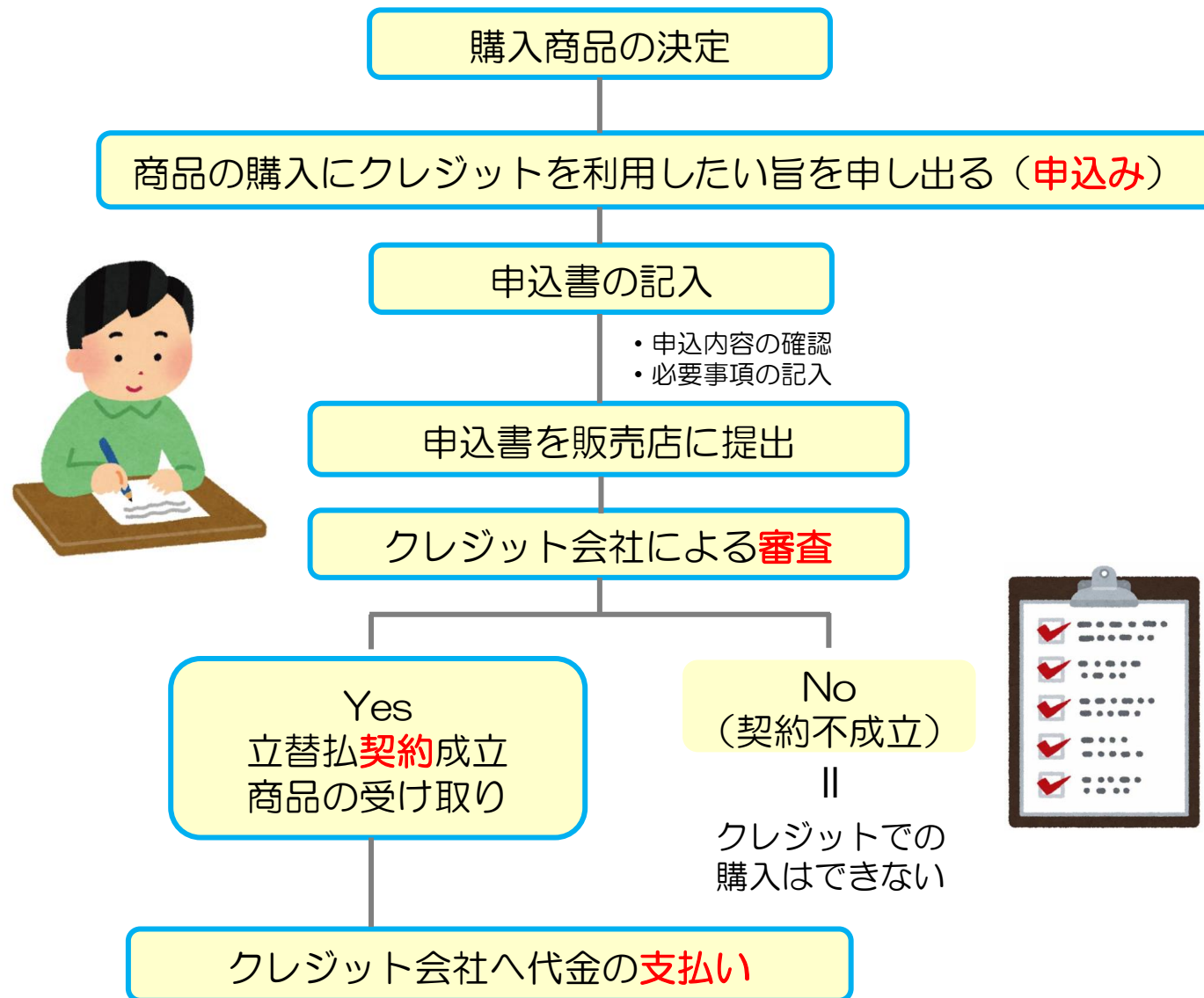
自動車の購入に個別クレジットを利用したい場合は、その自動車の購入に関するクレジットの申込みをする。

また後日同じ販売店からタイヤを購入したいときは、そのタイヤの購入に関するクレジットの申込みをする。

（ただし、購入が同時である場合、2つ以上の商品をまとめて利用することもできる）

このように、個別クレジットは、名前の通り、それぞれの**契約が独立**している。
「申込み」→「審査」→「契約」→「支払い」という流れが**その契約ごと**に行われる。

2. 個別クレジットの利用の流れ



3. 個別クレジットとクレジットカードは何が違う？

クレジットは利用方法によって、個別クレジットとクレジットカードの2つに分けることができる



個別クレジットは…

商品購入時に個別クレジットを利用することに申込み、審査がある。

クレジットカードは…

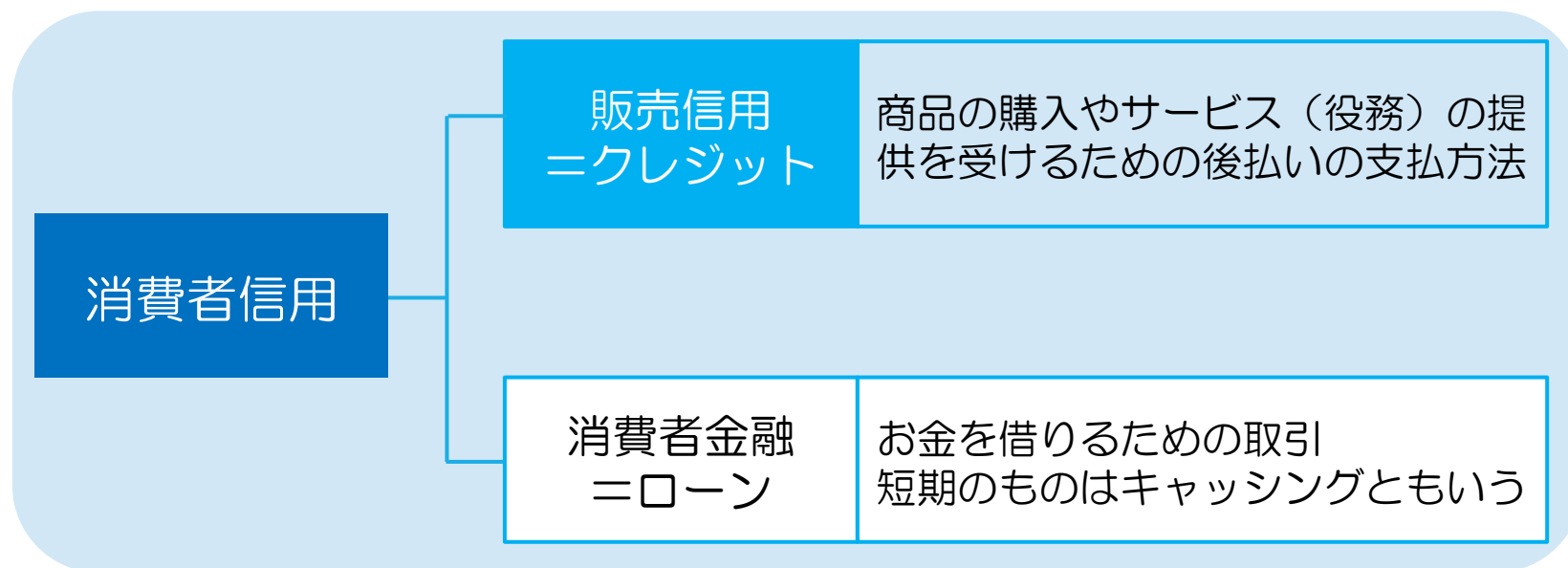
カードの申込みをして、クレジット会社の審査に通ればクレジットカードが発行される。カードが発行されると、商品を購入するためのカード利用の都度申込みをしたり、審査をすることはない。

《個別クレジットとクレジットカードの比較表》

	カード発行の有無	申込書の提出先	審査のタイミング	支払時期
個別クレジット	なし	販売店経由でクレジット会社	商品購入の都度	後払い
クレジットカード	あり	クレジット会社	新規申込みと更新のとき	後払い

【参考】消費者信用とは？

「消費者信用」は、「販売信用」と「消費者金融」に分けることができる



クレジットという言葉に定義はないが、一般的には「販売信用」と「消費者金融」を区別して、販売信用を「クレジット」、消費者金融を「ローンまたはキャッシング」という。

「販売信用」と「消費者金融」は

「消費者の信用に基づく取引」という共通点がある。

CHECK!



4章をふりかえろう

1. 個別クレジットは、（ ① ）を利用せずに、個々の商品の購入やサービスの提供を受けるために利用するクレジットのこと。
2. 個別クレジットは、利用の都度、申込みをして、（ ② ）を受けるクレジットのこと。
3. 消費者は申込書に必要な事項を正確に記入して、（ ③ ）経由でクレジット会社に提出する。
4. 個別クレジットとクレジットカードの共通点は、支払時期が（ ④ ）であること。
5. 消費者信用は、（ ⑤ ）と消費者金融に分けることができる。

CHECK!



4章をふりかえろう

1. 個別クレジットは、①クレジットカード を利用せずに、個々の商品の購入やサービスの提供を受けるために利用するクレジットのこと。
2. 個別クレジットは、利用の都度、申込みをして、②審査 を受けるクレジットのこと。
3. 消費者は申込書に必要な事項を正確に記入して、③販売店 経由でクレジット会社に提出する。
4. 個別クレジットとクレジットカードの共通点は、支払時期が④後払い であること。
5. 消費者信用は、⑤販売信用 と消費者金融に分けることができる。

5章 高校生として知っておきたいこと

1. 成年年齢の引き下げとクレジット

2022年4月1日に成年年齢が20歳から**18歳**に引き下げられた
成人になると…

- ・親権者（親）の同意を得ずに、様々な契約をすることができる
（例）クレジットカードをつくる、スマートフォン端末を個別クレジットで購入する
（それぞれ審査あり）
- ・「未成年契約」として取り消すことができなくなる



新成人などの若年者を狙う悪質な取引も報告されており、
その中でクレジットが利用されることがある

《契約時のポイント》

- ・軽い気持ちで契約しない
- ・ネットの情報に流されない
- ・支払いに不安があるなら契約しない
- ・うまい話に飛びつかない
- ・契約を急かす業者とは契約しない
- ・時にはきっぱり断る

・同意なく契約できるようになっても、**家族などに相談してから契約すること**が大切

2. 若年者に見られるトラブル事例

(1) 自ら安易に契約してしまうケース

- ① SNSで知り合った人から「1日数分の作業で月に数百万円を稼ぐ・・・」と勧誘を受けて興味を持ち、サイドビジネスに関する情報商材をクレジットカードで購入した。ところが、内容が説明と異なる上に儲からなかった。



- ② SNSで「簡単に儲けられる」という広告に興味を持ちメッセージを送った。海外投資のサイトを勧められて、そのサイトで投資金額をクレジットカードで支払った。結局、儲からなかったので取引をやめたいと思ったが、さらに多額の取引することが解約条件になっていてやめられない。

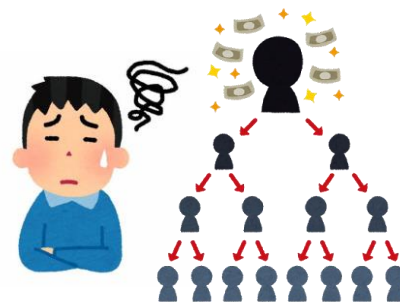


近年では、インターネットで情報を得ることが容易になり、SNS等を通じ勧誘されるケースなども増加しているので注意する。

安易な契約はせずに、慎重な契約を心掛ける。

(2) 断れずに契約してしまうケース

- ① 中学からの友人に、投資商品を広める儲け話を持ち掛けられた。自分も投資に参加しながら、さらに他人に紹介すれば紹介料が得られるという。入会金は高額だが、簡単に儲かるというので気は進まなかったが友人の誘いで断るわけにはいかず、入会金をクレジットの分割払いで支払った。結局投資はうまくいかず、他人にも紹介できないので、その後のクレジットの支払いに困っている。



- ② エステ店でエステサービスの契約や美容商品の購入を勧められた。興味はあったものの「お金がなく、支払えない」と店員に伝えたところ、クレジットで支払えばいいと強く勧められ、断れずにクレジットの分割払いで契約した。



契約はよく考えてからする。必要のない契約はきっぱり断る。

もし迷った時はその場ですぐに契約をせずに、家族など親しい人に相談する。

3. クレジットの利用者を守る制度

クレジット契約には消費者を守るために主に次のような制度がある。

(1) 支払停止の抗弁（個別クレジット、クレジットカード）

- 商品の引き渡しがない場合など、販売店との間に問題が生じている場合に、問題が解消するまでの間、クレジット代金の支払いを停止することができる（例外あり）。あくまでも支払いを一時停止するだけで、契約を解除することではない。
- クレジット会社に書面で申出を行うとよい。

(2) クーリング・オフ（個別クレジット）

- 契約の申込みや締結をした場合でも、契約を再考し、一定の期間であれば無条件で申込みを撤回したり、契約を解除できる。
- 個別クレジットを利用して、訪問販売で商品を購入したり、店頭でエステ契約をした際などに適用される（特定の取引に限定）。
- 8日又は20日以内にクレジット会社に書面で申込みを撤回等する旨を申し出る。
- 個別クレジット契約とともに売買契約についても撤回することができる。



4. 多重債務ってどんなもの？

多重債務とは？

クレジット代金などの支払いにあたって、カードローンや消費者金融など複数の金融機関などからお金を借りて支払うことを繰り返し、複数の会社にとっても支払うことのできない債務を抱えてしまうこと。

《多重債務にならないためのポイント》

支払能力を超えた利用とならないよう計画的かつ必要に応じた利用を心掛ける。



- 過剰な利用をしない
収入に合わせる
つい使ってしまうという、過大な気持ちは持たない
- 支払計画を立てる
余裕を持った支払計画を立てる
利用明細で残高・手数料を確認し、適宜支払計画を見直す
- 他社から借り入れての支払いはしない

支払が困難になったときには、多重債務に陥る前に
家族や身近な人に相談することが大切



5章をふりかえろう

1. 2022年4月に、成年年齢が20歳から（ ① ）に引き下げられた。
2. 成人になると親権者の（ ② ）なく契約が結べるようになる。一方、未成年契約として（ ③ ）ことができなくなる。
3. クレジット取引では、支払停止の抗弁と（ ④ ）という消費者を守るための制度がある。
4. 複数の相手にとっても支払うことのできない債務を抱えてしまうことを（ ⑤ ）という。
5. （ ⑤ ）にならないために、自分の支払能力を超えた利用としないよう（ ⑥ ）かつ（ ⑦ ）利用を心掛ける。



5章をふりかえろう

1. 2022年4月に、成年年齢が20歳から ①18歳 に引き下げられた。
2. 成人になると親権者の ②同意 なく契約が結べるようになる。一方、未成年契約として ③取り消す ことができなくなる。
3. クレジット取引では、支払停止の抗弁と ④クーリング・オフ という消費者を守るための制度がある。
4. 複数の相手にとっても支払うことのできない債務を抱えてしまうことを ⑤多重債務 という。
5. ⑤多重債務 にならないために、自分の支払能力を超えた利用とならないよう ⑥計画的 かつ ⑦必要に応じた 利用を心掛ける。

6章 こんなときどうするの？

これまで学習したことから考えてみよう！

Q1. クレジットカードをなくしてしまった

Aさんは、買い物や食事にクレジットカードを利用した。帰宅して荷物の整理をしているときに、カードをなくしたことに気づいた。どうすればいいだろうか？

- ①すぐにクレジット会社と警察に届出る
- ②何もしない



Q2. 友達にカードを貸したら利用されてしまった

B君は、友達のC君に「今、現金がないからクレジットカードを貸してほしい、お金は後で必ず返す！」と言われて、クレジットカードを貸した。その後、C君はクレジットカードを返してくれた。後日、クレジット会社から届いた利用明細書には、C君が利用した分も含まれていた。まだC君からお金は返してもらっていないけど、B君はC君の利用分も支払うのか？

- ①支払わないといけない
- ②支払わなくてよい

Q3. クレジットカードで買った商品を返品したい

Dさんは、ショッピングモールで洋服をクレジットカードで購入した。
ところが、後日、別のお店で同じ商品が安く売っているのを見つけた。

ショッピングモールのお店の了解を得なくても、購入した洋服を返品（キャンセル）
できるだろうか？

- ①できる
- ②できない



Q4. スマートフォン通信料の支払いが遅れてしまった

Eさんは、スマートフォンを新しい機種に変えた。
端末代金は高額だったので、分割払いを利用し、月々の通信料と一緒に支払うこ
とにした。

たびたびお小遣いが足りない月があり、スマートフォンの通信料金を期日までに
支払うことができなかった。今後起こりえることは？

- ①クレジットの審査に影響する
- ②スマートフォンが使えなくなるだけで、特に影響はない



Q5. 未成年者契約に関すること

Fさんは、今年高校を卒業し大学に進学した。その年（18歳のとき）の夏休みに、友人達と海外旅行に行くことになったため、初めてクレジットカードを申込みつもりだ。

Fさんは、親権者（親）の同意なく、自分の意思だけでクレジットカードを申し込んでよいか。

- ①申し込んでよい
- ②親権者（親）の同意が必要



A1. ①すぐにクレジット会社と警察に届出る

クレジットカードを失くしたり、盗まれたりしないようにしっかりと管理することが大切。
クレジット会社は届出を受けて利用状況を確認するので、Aさんは調査に協力する必要がある。

Aさんはカード会員規約を守って利用していることが認められれば、
仮に不正に利用されたとしても、Aさんは不正利用された金額を支払わなくてもよい。
届出をしないで、他人に悪用された場合は、Aさんが支払うことになる場合もある。

もしもに備えて、クレジット会社の社名と連絡先を記録しておく。

⇒クレジット会社に連絡すると、クレジット会社はそのカードを使えないようにする。
したがって、気がついたらすぐに届出することが大事。

A2. ①支払わないといけない

クレジットカードは、B君がクレジット会社の審査を受けて、クレジット会社から貸与されたもの。
クレジットカードは、カード会員規約によって他人に貸してはいけないルールになっている。
このルールを守らないと、カードが使えなくなることがある。
家族でも、カードの貸し借りはルール違反となる。

B君はこのルールを守らずにC君にカードを貸したのだから、C君が使った分を支払わなければいけない。

⇒C君が、B君のカードを勝手に持ち出して利用したときは、B君は支払わなくてもよいこともある（B君がカード・暗証番号の管理をしっかりとっていたかどうかなどがポイント）

A3. ②できない

Dさんが望んでも、一方的にキャンセルすることはできない。
(売買契約と立替払契約の解除)

契約は、**双方の合意**で成立する。契約をキャンセルするときも、売買契約を結んだ「消費者」と「お店」の双方の合意が必要となる。

Dさんが、買ったお店と交渉し、そのお店と合意できればキャンセルが成立する。

A4. ①クレジットの審査に影響する

カードを利用しないクレジットがある(個別クレジットという)。
スマートフォンの端末代金の分割払いもクレジット契約になる。

このため、端末代金の支払いが遅れると、**支払いが遅れたという事実**が信用情報機関(シー・アイ・シー)に登録される。

2~3ヶ月以上支払っていないという情報は、その後支払ったとしても5年間は信用情報機関に残る。その期間にクレジット契約をしようとした場合、その支払っていないという情報は審査の参考にされる。

よって**通信料金の支払いも、通常のクレジット払いのように支払いの管理に注意する。**

A5. ①申し込んでよい

2022年4月1日から成年年齢が18歳になった。このため、Fさんは18歳で成人である。成人であれば、親権者の同意なくクレジットカードの申込みをすることができる。

なお、未成年者が親権者の「同意」がなく結んだ契約は、未成年者または親権者が取り消すことができる。

＜未成年者契約の取消の例外＞ 以下のようなときは、未成年者契約でも取消ができない

- ・ 親権者の同意がある契約
- ・ 未成年者の小遣いの範囲での契約（参考書などの少額の買い物など）
- ・ 結婚をしているときにした契約（未成年の間に離婚したとしても同じ扱いとされている）
- ・ 未成年者が「自分は成年である」と言って相手を騙（だま）してした契約 など

2022年4月1日以降は、高校生であっても18歳になった誕生日からは、親権者の「同意なし」で契約ができるが、未成年者契約としてその契約を取り消すことはできない。

成人になったばかりの若者を狙う悪質な業者があるので注意が必要。

一度契約すると簡単にはキャンセルができなくなるので、親などに相談してから契約しよう。

7章 クレジット利用のまとめ

クレジットは、
支払方法の1つ。
契約するのは**自分**。
支払うのも**自分**。
契約するなら、契約者の
自覚・責任をもとう！



Point !



自分の収入・生活にあわせて、無理なく使うことが大切！

① 必要に応じて利用する

商品やサービスが本当に必要なものか、クレジットを利用する必要があるのか。

② しっかりとした支払計画を立てる

収入や、他の支出も考えた上で無理のない支払計画を立てる。

③ 支払条件を比較・検討する

ポイントやおまけのサービスだけでなく、手数料（年会費）などもよく確認する。支払期間、支払方式なども自分に合うものを選ぶ。

④ 契約内容を確認する

契約者は「自分」。契約者には「契約者責任」がある。申込書や規約、伝票などの内容を必ず確認し、受取った書類は、必ず保管する。

⑤ 支払期日は必ず守る

利用明細と利用内容を必ず確認し、支払期日までにお金を用意しておく（契約は守る）。

MEMO

協会ホームページでクレジットの情報を発信しています！！



QRコードから日本クレジット協会の
ホームページにアクセスできます



一般社団法人

日本クレジット協会

認定割賦販売協会 認定個人情報保護団体 クレジット教育センター

2022年6月改訂